

本学留学生が外国籍市民を対象とした安芸高田市の防災訓練に参加しました。

平成 28 年 11 月 20 日（日）に安芸高田市のクリスタル・アージュで安芸高田市・安芸高田市社会福祉協議会・安芸高田市国際交流協会の主催で外国籍市民を対象とした防災訓練が開催されました。安芸高田市と本学が包括協定を結んでおり、その一環として協働プロジェクトを実施しています。今年度のテーマは、「中山間における多文化共生社会の仕組みづくり（代表者 地域連携センター 准教授 上水流久彦）」で、留学生の参加を安芸高田市との協議のなかで要請されました。そこでブラジル国籍で大学院生のモリ ダグラスさん、姉妹校の台湾・世新大学から留学中の潘曉蓉さん、張 育茜さん、黄雨晴さんの 4 名が参加しました。本格的な訓練は全員初めてで自身の勉強になると述べていました。と同時に、「やさしい日本語」の必要性、「掲示による重要な情報の多言語での伝達」、「日本語通訳ができる外国籍市民のリーダーの育成」などが必要だと指摘しました。



防災について安芸高田市関係者と話し合う台湾人留学生



通訳も行ったブラジル人留学生（写真中央男性）